
役者の容姿

ハト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

役者の容姿

【Nコード】

N7756K

【作者名】

ハト

【あらすじ】

役者の容姿は、平凡か醜悪な方が良い。飛び抜けた美男美女はたしかに花があるが、どうにも演技が稚拙である。演技方や台詞が嘘臭い。

役者の容姿は、平凡か醜悪な方が良い。飛び抜けた美男美女はたしかに花があるが、どうにも演技が稚拙である。演じ方や台詞が嘘臭い。顔が良いという理由で職にありつけるものだから、日々の修行がどこかお座なりになっているのではないかと思う。それに、二枚目として持て囃されるからか、なにやら演技が気取ったものになっている気もする。そこへ行くと、容姿に恵まれぬ役者は良い。

そんなことを思いながら、私はドラマを見ていた。画面の中では、どの局の大衆番組でも見かけける若い男が、白々しい演技を続けている。主人公が妻の事で深く思い悩むという場面であるが、どうにも作り物の様な男の表情が気になって仕方がない。

退屈になつてチャンネルを変えていると、化粧をした妻が部屋に入ってきた。

「あなた、すいませんけど私、これから友人と夕食を頂いてくるわ。今夜は何か出前を取るか、それとも冷凍食品で我慢して頂戴。学生時分から親友だから、遅くまで話し込むと思うの。帰りは朝になるかも知れないから、先に寝ていただいて結構ですよ」

「ああ、判つたよ。しかし今日も友人と食事か。たしか先週も、学生時代の親友に会いに行つて、朝方に帰ってきていたね。別にそれが不満というわけでもないが。君には古くからの親友がたくさんいて、少し羨ましいよ」

「あら、そうかしら。普通はそれぐらい居るものよ。それに、別に相手は女性なのだから良いじゃない。私にだってこれぐらいの息抜きはさせて頂戴。早く行かないと約束の時間に遅れてしまうし、もう行くわ」

そう言つて、美しい女は逃げるように出ていった。その背中を見て改めて思う。役者の容姿は、平凡か醜悪な方が良い。

(後書き)

ご意見ご感想等よろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7756k/>

役者の容姿

2010年10月22日09時56分発行